

TAKATSUKI RED CROSS HOSPITAL

# 日赤の森

2012  
January

No.84

[www.takatsuki.jrc.or.jp](http://www.takatsuki.jrc.or.jp)

**消化器内視鏡センターを  
開設いたしました。**



# あけましておめでとうございます。

旧年中に頂きましたご支援ご指導に対し

心から感謝申し上げます。

本年もよろしくお願ひいたします。



高槻赤十字病院 院長

田嶌政郎

昨年3月の東日本大震災、夏の台風12号の豪雨による災害に対して多大なご支援をいただき有難う御座いました。当院の災害救護倉庫は近畿から被災地への救援物資の中継点として有効に機能いたしました。災害救護体制の整備、救援物資の備蓄、救護訓練などに努め、今後予想されている大規模地震へ備えていきたいと思っております。

昨年は日本経済もGDPが中国に抜かれ世界第三位に落ちるなどひとつ明るいとは言えませんでしたが、昨年にも世界一になった出来事がいくつかあります。東京スカイツリーの高さが3月に600mを超えて自立鉄塔として世界一の高さ(643m)になりました。6月にはスーパーコンピューター「京」が世界最高の計算能力を発揮し、11月にスパコンのノーベル賞ゴードン・ベル賞を受賞しました。7月にはなでしこジャパンがワールドカップ

ドイツ大会で優勝し、「あきらめない」が流行語になりました。9月には「わさび火災報知機」がイグ・ノーベル賞を受けました。11月には5台参加し、4台が完走した世界初の二足歩行ロボットのフルマラソン大会で大阪の会社のロボットが約55時間で完走し優勝しました。どのような分野であれ世界を目指す心意気もって(初)夢の実現に向かって前向きに進みたいものです。

最新で最善の医療を、快適な環境の下で、安心して安全に、みなさまがたにお受けいただくために、本年が病院新築建てかえに向けた第一歩の年になるよう願っております。

夢の実現のために職員一同日々の診療に一層努力いたす所存です。皆さまの絶大なるご支援ご指導を今年も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

平成24年1月元旦

# 消化器内視鏡センターを開設しました。

センター長 消化器科  
神田直樹



より高度な内視鏡検査・治療に対応するために、2012年2月消化器内視鏡センターを開設しました。

当院は、内視鏡検査を年間約4500件行っており、早期癌治療・胆道系処置・止血処置などの治療内視鏡も年間500件を越える件数を行っております。また、質の高い医療を提供するため、内視鏡検査・治療に携わるスタッフとの話し合い、外科との連携を強化するなどして、精密な検査・治療を行っています。消化管の内視鏡治療では、早期胃癌のESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)は年間54例と北摂地域屈指の症例数となっており、さらに、先進医療の「大腸腫瘍に対するESD」の施設認可も取得し、従来の方法では切除できなかつた大きな早期大腸癌も低侵襲に内視鏡的切除ができるようになっています。

センターとして運営することで、消化管出血や胆道結石などの救急疾患に迅速に対応するだけでなく、早期胃癌・大腸癌の内視鏡治療など、病院によっては数ヶ月待ちとなることもある疾患に対しても、2-3週間以内には処置ができる体制をとっています。また、苦痛の少ない内視鏡を目指し、希望される患者様には、経鼻内視鏡や鎮静下の大腸内視鏡ができるようにしております。良質かつ苦痛の少ない内視鏡検査・治療をモットーにしておりますので、よろしくお願い申し上げます。

## ● 痛くない大腸内視鏡

大腸癌は、癌の中で女性では1位、男性では3位の死亡原因となっています。このため、便潜血検査で陽性の場合や症状がある場合には必ず大腸内視鏡を行うことが、早期発見のために重要です。しかし、大腸内視鏡は苦しいという認識から敬遠する患者様もいらっしゃることと思います。大腸内視鏡は、専門医が施行すれば、多くの場合苦しいものではありませんが、患者様の腸の走行形態、痛みの感受性によっては、2割程度の患者様で苦痛と伴うことがあります。当院では、麻酔希望のある患者様や、これまでの検査から痛みが強いと予想される患者様には、浅い麻酔(眠っているものの声をかければ起きる程度)をかけることで、皆様に痛みのない大腸内視鏡検査を提供できるようにしています。

## ● 精密で苦痛の少ない上部消化管内視鏡(胃カメラ)

胃癌は、癌の中で男性2位、女性3位の死亡原因となっています。このため、人間ドックや健診による定期検査、症状がある際の胃カメラは、早期発見のために非常に重要です。この検査では、食道、十二指腸も観察するため、最近話題になっている逆流性食道炎や食道癌の検査も兼ねることができます。当院では、精密な内視鏡検査を行っており、画像解像度の観点から基本的に経口の内視鏡検査を行っていますが、嘔吐反射の強い患者様には経鼻内視鏡や麻酔下の内視鏡も実施し、苦痛の少ない胃内視鏡を実施しています。



## ● オープン検査(上部消化器官内視鏡)

当院では、開業医の先生から直接胃カメラが予約できるシステムも実施しており、仕事などで忙しい患者様に、予約や結果説明のために病院を受診する手間を省いています。当院は胃カメラの日の1日だけの受診で済み、予約と結果説明は、開業医の先生の夜診などでいただきます。

# 地域医療支援病院に 承認されました

当院は、平成 23 年 11 月 25 日付で、大阪府知事より「地域医療支援病院」に承認されました。今後とも「かかりつけ医」との連携を一層強化し、医療の充実に努めてまいります。

地域医療連携課 濱田健司



現在、当院の南西角において、敷地をお貸しして(株)マルヤス様によるスーパーの建設が行われています。

スーパーのオープンは今年の4月の予定となっております。

工事期間中は、ご不便、ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。



イメージ図

### 最小侵襲人工股関節置換術 (MIS-THA)

当科では、2011年11月より低侵襲人工股関節置換術(MIS-THA)を適応症例に施行しております。メリットは筋肉腱の切離が少ないとあります。あるいは全く行わないため、術後の疼痛コントロールを含めて運動回復が早くなり、術後のリハビリが短くできるため、早期の社会復帰と退院が可能になるということです。

1998年、Hospital for surgery の Thomas P.Sculo のグループが発表したものがその嚆矢であるとされています。その後 Richard Berger らの two-incision approach が開発されたものの合併症が多く敬遠される向きもありましたが、ドイツの Heintz Rottinger mini Watson-Jones (OCM) 法が開発され、MIS は可能な手術として受け入れられるようになりました。2002年末頃、本邦でも一部の施設で MIS-THA が施行されるようになりました。しかしながら、MIS-THA が提唱された当初、小さい皮膚切開により人工股関節を適切な角度に挿入することは困難であり、“曲芸的な離れ業”あると考えられていました。しかし現在では、技術の進歩と術者の熟達により MIS-THA の経験が豊かな外科医にとっては“曲芸的な離れ業”ではなくなりました。つまり熟達した関節外科医であれば短い手術時間で適切な角度に人工股関節を挿入することが可能となっていますが、未だ数少ない施設でのみ行なわれているのが現状です。

2000年以降、MIS-THA の成績は多く報告されてきました。本手術の効果、安全性、信頼性、早期社会復帰に関する良好な成績の報告も多数見られています。

現在、MIS-THA の成績をさらに向上させるため、股関節に到達する方法（進入法）も様々なものが提唱されています。

当初は従来法と同じく筋肉を切り離して股関節に到達する進入法（筋肉切離型）でした。しかし、2004年、筋肉を切り離さずに股関節に到達する筋肉を温存できる进入法（筋肉非切離型・筋温存型）が発表されました。

このように MIS-THA は、小さい皮膚切開の技術から筋肉を切り離さない技術へと進歩してきています。当院における MIS-THA は 筋非切離型（筋温存型）MIS-THA を採用しております。

- ① 10cm程度の小さな皮膚・筋肉切開で前方より股関節に進入して筋付着部を切離せずに筋間を分けて股関節に到達して手術を行います。
- ② 新たに開発した手術器具により筋腹を損傷しないようにして人工股関節を挿入します。
- ③ 人工股関節挿入後、進入の際に分けた筋膜を縫合して終了します。

# カンガルー倶楽部



## 目的

産後の母親達の育児支援と仲間作りの場となり、母親同志が日頃のストレスや心配事また育児の喜びを話し合い、楽しい時間を過ごすことによって共感を持ったりお互いに支えあったりすることができる。

## 対象

生後2か月～12か月までのお子さんとお母さん

当院出産者以外も可

## 日時

毎月第2金曜日

13時～14時半まで



## 内容

担当助産師が1名で進行している。

- ① 参加者の自己紹介
- ② フリートーク
- ③ 小児科医からのお話（内容は参加者の要望を参考に準備してくれます）  
今までしていただいた内容では予防接種について、水分補給について、  
子供のけがについてなど
- ④ 栄養士さんのお話（内容は参加者の要望を参考にして準備してくれます）  
今までしていただいた内容は離乳食・アレルギー・水分補給・歯の手入れ  
についてなど
- ⑤ 助産師による読み聞かせ・育児相談・母乳相談など
- ⑥ 12か月児はカンガルー倶楽部卒業の記念に記念写真をお渡ししています。
- ⑦ イベントとして2回／年（5月の子供の日・12月のクリスマス）の開催を検討中

## 院内キヤンドルサービス

看護副部長 吉田 篤美

例年行つております院内キヤンドルサービスは、患者様にひと時、癒しと穏やかな時間が来ることを願い、今年度も12月22日午後6時より開催しました。外部より一般参加ボランティアを迎える病院職員ボランティアと合わせ総勢114名、各病棟を3つのグループに分かれて蠟燭を手に聖歌を歌つて回りました。病棟の電灯を落

とし蠟燭の灯が浮かび上がり、厳かな雰囲気に包まれました。患者様からは、「きれい、癒される」、「楽しい」などの声が聞かれ、聖歌隊に初めて参加した職員も感激いたしました。一般参加ボランティアの方々のご理解とご協力があつてこそと大変感謝いたしております。紙面をお借りしてお礼申し上げます。



## 赤十字大会に参加して

総務課人事係 寺西 由里子



私は、平成23年11月15日（火）にNHK大阪ホールにて行われた「平成23年度大阪府赤十字大会」にスタッフとして参加させていただきました。

この大会は、事業資金のご協力をいただいた赤十字社員や寄付者、並びにボランティアとして活動に貢献いただいた方などに對し、感謝の意を伝えることを目的としています。

当日は、約1,100人の参加者が訪れ、名譽副総裁高円宮妃殿下ご臨席の下、有功章・表彰状・感謝状の授与・贈呈の他、東日本大震災の活動報告や大阪赤十字看護専門学生による合唱等が行われました。

初めてこのような大会に参加させていただき、多くの方々に赤十字が支えられているのだということを強く感じ、身の引き締まる思いでした。

## 救急法基礎・救急員養成講習会に参加して

HCU係長 伊藤 勝也

新年明けましておめでとうございます。

平成23年は未曾有の大惨事、東北大震災が起こりました。人々の絆が強く呼ばれた記憶に残るこの年に救急法を受講することとなりました。2日目・3日目は強風波浪警報が発令され前代未聞の延期となり併せて忘れられない講習会となりました。救急法初日は一次救命処置主体でしたので普段二次救命処置をしているおかげで問題なく終了しました。2日目 苦手な包帯法でしたが、周りの方たちと協力しながら何とか乗り越えることが出来、3日目は包帯法と筆記試験があり、試験ということ自体緊張しますが、落ちたらちゃんと恥ずかしいなというプレッシャーもあり、私も含め皆さん真剣に取り組んでいたように感じられました。

今後も同じような事態が起ることが十分に予想されます。一人でも多くの方の命を守つていかなくてはならないと思いますが、救急蘇生法がその良い入り口ではないかと感じる次第です。



# 大阪国際空港航空機事故対策訓練に参加して

経営企画課 主事 北 博之



11月17日（木）に大阪国際空港であります。航空機事故対策訓練に参加しました。

私は、防災訓練に参加するのが初めてで、とにかく緊張していました。現地では、各症状（重症・中等症・軽症）に患者を振り分ける「トリアージ」を行い、患者の個人情報（名前や年齢など）を確認するとともに医師と看護師が判断

したこと（脈拍数など）を用紙に記入するということをしました。患者は様々な症状を患っているので、患者の状態を把握するのに戸惑いましたし、患者が増えれば増えるほど患者を待たせてしまうという状況を作ってしまいました。「訓練でもこのような状況になるのに、実際の状況になると一体どうなってしまうんだろう？」とすごく恐怖感を覚えました。

この訓練に参加してこの恐怖感を感じることができ、とても勉強になりましたし、個人的にもっと多くの訓練に参加し、色々な状況を肌で感じる必要があるように思いました。

したこと（脈拍数など）を用紙に記入するということをしました。患者は様々な症状を患っているので、患者の状態を把握するのに戸惑いましたし、患者が増えれば増えるほど患者を待たせてしまうとい

う状況を作ってしまいました。「訓練でもこのような状況になるのに、実際の状況になると一体どうなってしまうんだろう？」とすごく恐怖感を覚えました。

この訓練に参加してこの恐怖感を感じることができ、とても勉強になりましたし、個人的にもっと多くの訓練に参加し、色々な状況を肌で感じる必要があるように思いました。



私は、防災訓練に参加するのが初めてで、とにかく緊張していました。現地では、各症状（重症・中等症・軽症）に患者を振り分ける「トリアージ」を行い、患者の個人情報（名前や年齢など）を確認するとともに医師と看護師が判断

平成23年11月8～11日において茨木市立北陵・太田、高槻市立阿武野・第九中学校の当院近郊の4つの中学校を迎えて職場・福祉体験学習が実施されました。病院での看護体験やボランティア体験等を経験することで地域社会の一員であることの自覚や思いやりの心を育て、他者のために主体的に考え方行動することが出来ることを目的にしており、参加者の中学生達も医療現場に興味のある人が集まりました。

将来医療に関わる仕事をされるかどうかは分かりませんが今回の体験学習が一つのきっかけになればと願っています。

## 職場体験・福祉体験

社会課社会係長 大内 貞則

## ボランティア交流会

社会課社会係長 大内 貞則



## 第七回高槻市まちなみ花づくりコンクール

### 団体部門「緑化奨励賞」を受賞しました

緩和ケアボランティア 園芸グループ



第七回高槻市まちなみ花づくりコンクールに去年の春、病院入口の角地花壇の写真を撮影し、応募しました。団体部門で「緑化奨励賞」を頂き十月十六日(日)に高槻市現代劇場で表彰式があり表彰状と花びんを戴きました。

緩和ケアボランティア活動は今年で十周年を迎え、共に二重の喜びです。特に角地花壇は、一昨年の秋に園芸仲間が土を掘り起して土の改良を行いました。その結果、きれいな花が咲く様になりました。夏の水やりや日常の手入れは大変ですが、みなさまの努力に感謝しています。今後も、地域の方々に愛され、来院される患者さん達の「癒し」となる様に頑張りたいと思っております。

平成23年度秋季

## 「高槻市環境美化推進デー」

社会課長 荻原直久

平成23年11月13日(日)  
午前9時より、生活衛生の向上及び美化意識の高揚を図るため、「高槻市まちの美化を推進する条例」に基づき、秋季「環境美化推進デー」として市民、事業所、関係機関並びに高槻市との協働により、市内一斉清掃が実施されました。

今回は、JR高槻駅北口広場から芥川商店街を抜け、約4キロの区間を高槻市職員、愛仁会高槻病院職員他の方々と共に、清掃ボランティア活動をおこないました。当院からは、医療社会事業部、病理部から職員が参加しました。

このボランティア活動は、春季・秋季と2回開催され、多くの市民、事業所、関係機関の職員が参加しています。今後も地域の赤十字病院として、コミュニティの輪を広げるためにも、継続して職員に参加を呼びかけたいと考えています。



女声合唱団「コラールあぶ山」

### 第13回 *Christmas Concert* 開催

平成23年12月15日(木)17時より当院1階FAXコーナー前において女声合唱『コラールあぶ山』による第13回クリスマスコンサートが開催されました。

クリスマス聖歌メドレーを始め宮城県民謡の大漁歌いこみ等、宗教曲から童謡まで幅広いレパートリーを合唱され、集まった患者様たちは楽しい一時をすごされておられました。

社会課 社会係長 大内貞則



### 平成23年11月16日 患者慰問コンサート



平成23年11月16日ボランティアの方による箏・尺八の患者慰問コンサートが緩和ケア病棟内にある「やすらぎホール」において開催されました。当院において邦楽は初めてであり聴講された方々からは好評を頂きました。曲目は荒城の月や黒田節等年配の方がよろこぶ曲が多く、また通りやんせ、てまりうた、小さい秋見つけた等の皆さんに良く知られた童謡わらべ唄もあったおかげで聞きにこられた患者様は楽しい時間を過ごされておられました。

社会課 社会係長 大内貞則



## 平成 23 年度 日本損害保険協会寄附金により 人工呼吸器 Evita XL を整備いたしました



本機器は平成 23 年 6 月に社団法人日本損害保険協会から「交通災害等救急医療機器整備事業」として約 330 万円の寄附金交付を受け整備されました。人工呼吸器 EvitaXL は、多彩なパフォーマンスと高度な機能が多数備わっており、患者さんがどのような様態にあっても、また大人や子供、赤ちゃんでも高度な換気を提供する事ができます。

15 インチの大画面は様々な情報を提供する事、各種計測機能によって刻々と変化する患者さんの様態に合う換気設定を実現出来る事で人工呼吸器装着時間の縮小に寄与します。

## 平成 23 年度 日本損害保険協会寄附金により 医用テレメータ WEP-5208 を 2 台 整備いたしました

本機器は平成 23 年 6 月に社団法人日本損害保険協会から「交通災害等救急医療機器整備事業」として約 1050 万円の寄附金交付を受け、4 病棟及び 9 病棟に整備されました。

医用テレメータとは、医用に割り振られた特定小電力無線を使い、入院患者様のバイタルサインを遠隔からモニタリングするシステムのことです。測定する項目は、送信機によって異なりますが心電図・呼吸・SPO<sub>2</sub>（動脈血酸素飽和度）・非観血血圧などで、機器によってモニタリングできる人数なども変わります。

患者様の刻々と変化するバイタルサインは常に確認しないといけません。

この機器は目では見えない患者情報を数値で表したり、情報を連続的に測定したり、容態の変化を警告したりなど、バイタルサインの変化にいち早く対応することが可能となります。

今までの機器とは違い、見易さ・操作性の向上、保存データ件数の増加などの機能が「安全管理」や「業務効率の向上」及び、「医療の質の向上」に結びつけられることと思います。



## エコロジーガーデンの設置



当院では、院内緑化により患者様にとって快適な空間を提供するため、平成22年6月より外来待合などに「エコロジーガーデン」を設置いたします。

「エコロジーガーデン」は、空気浄化能力の高い植物と特殊土壌を組み合わせて使用することにより、室内の空気の質を高めることができるもので、この導入により、患者様により一層の“癒しと安らぎ”的空間を提供していきたいと考えております。



なお、この「エコロジーガーデン」は、下記企業等のご協力のもとに維持運営を行っています。

### エコロジーガーデン協賛企業（順不同）

都市クリエイト(株)	(株)ニック	小山(株)
(株)塩梅なにわ	(株)小林木村家	たかつき京都ホテル
(株)マルヨシ	モス・ワールド(株)	住友電設(株)
東ア建設(株)	(株)国際興業大阪	(株)いづみ商事
茨木サンシャイン(株)	くだもの ヤマ作	ローソン高槻赤十字病院店
大阪促成青果(株)	高槻交通(株)	コーベベビー(株)神戸支店
アルファテック・ソリューションズ(株)	(株)播芳	(株)白洋舎
(株)北陽オートドアサービス	東西化学産業(株)大阪営業所	(株)ダイオー
ワタキューセイモア(株)	興和防災(株)	(株)サクセスアカデミー
(株)幸蔵	京阪米穀(株)	大阪神戸冷食(株)
アサヒカルピスビバレッジ(株)	(株)コクミン	

## 看護スタッフ募集！

～自分の能力や経験を  
活かせる職場です～

当院では『温もりと安心の看護』を目指して、患者さまへゆとりあるケアを提供していくため7対1の看護体制を導入しています。

仕 事	病棟看護師（正職員・パート）
時 間	<b>日勤① 8:40～17:10 (45分休憩)</b> <b>日勤② 8:40～18:06 (60分休憩)</b> <b>夜 勤 17:55～ 9:05 (94分休憩)</b>
休 日	4週8休制（年間休日122日）※パートは勤務時間・日数応相談
給 与	<b>正職員 月給264,292円以上(夜勤手当4回含む)</b> (例:経験5年 302,330円) ※経験による優遇 <b>パート 時給1800円</b>
連絡先	<b>072-696-0571 総務課人事係</b> ※詳細はホームページをご覧ください。

正職員は  
入職支援金  
あります

研修制度も充実！  
院内保育も完備！  
働きやすい職場です



# かかりつけ医を持ちましょう

「かかりつけ医」とは、定期的な診察やお薬など、日頃、診ていただぐる診療所・医院・クリニックのことです。「かかりつけ医」で、より詳しい検査、手術、入院治療が必要な時は当院へ紹介状をお持ちください。

「紹介状」は患者さんの病状や検査結果などの診療情報を「かかりつけ医」と高槻赤十字病院とで共有し、重複した検査等を避けるためのもので、また、初診料とは別の 3,150 円のご負担もありません。

地域医療連携課 濱田健司



日本赤十字社 高槻赤十字病院

〒569-1096 大阪府高槻市阿武野 1-1-1  
TEL 072-696-0571 (代表)  
URL <http://www.takatsuki.jrc.or.jp>  
mail trc@takatsuki.jrc.or.jp

発行責任者 事務部長 宮前 茂

## 高槻赤十字病院の理念

私たちは人道・博愛の赤十字精神に基づき、高度で安全な医療を提供し、地域の人々が誇りにする病院となるよう努めます。

## 高槻赤十字病院の方針

1. 患者さまの人権と意思を尊重し、患者さま中心の医療をおこないます。
2. 一人ひとりの患者さまを全職員が支援する、チーム医療をおこないます。
3. 患者さまのホームドクターと緊密に連携し、地域で完結する医療をおこないます。
4. 常に向上心と研究心をもち、最高最善の医療が実現できるように努めます。
5. 健全な病院経営と地域に貢献できる医療従事者の育成に努めます。
6. 災害救護活動をはじめとする赤十字に課せられた使命を果たします。

モバイルサイト

携帯電話で QR コードを  
読み取ってアクセスしてください

病院情報は  
こちらから！



日赤の森

2012/1 No.84